

リハビリテーション西播磨病院だより

ひかりの都

発行・編集

兵庫県社会福祉事業団

リハビリテーションセンター西播磨病院

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

TEL (0791)58-1050

FAX (0791)58-1071

着任のご挨拶

リハビリテーション西播磨病院

リハビリ療法部長 山崎 敏夫

ご挨拶が遅くなりました。このたび4月1日よりリハビリテーション西播磨病院にリハビリ療法部長として着任いたしました。着任後、はや半年が経過しようとしておりますが、これほど素晴らしい自然環境の中、大変設備にも恵まれた病院で勤務できることを光栄に思います。地域に根ざした病院の一役を微力ながら精一杯頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、理学療法士の職に就いて今年で31年目になります。まず最初に横浜の大学病院で急性期、在宅（現在でいう地域リハ）フォローに至るリハビリテーション医療を学びました。その後、五島列島での離島医療、篠山での国立病院での医療、長野県での山間医療、兵庫リハでの重度身体障害者更生施設と中央病院、そして今回の西播磨病院ということになります。思い返せば、私が初めて就職した頃はリハビリテーションの意味がよく周知されていない時代で、患者さまに「先生、マッサージやっつや」「マッサージの先生」というのがその頃のセラピストに対する

る大方の理解だったように思います。

その後、徐々にリハビリテーション医療を実施する病院が増え、また、セラピストの数も増し、少しずつリハビリテーションに対する理解も深まっているように思います。ただし、まだ残念に思うことがあります。それは、痛く・つらく・苦しいことを辛抱しなければ、リハビリテーション医療ではないように思われていることです。決してすべて楽でないことは確かですが、日進月歩、治療技術が進歩し、痛いことを我慢しなくても和らげる技術もありますし、頑張り過ぎず適度に行うことがかえってよくすることが多々あります。リハビリテーションの目的は、狭い意味では力をつけたり、歩けるようにするといった機能訓練をとらえがちですが、本来はたとえ障害があっても普段の生活や今まで活動していたところへ少しでも参加できるようにというものです。つまり、独りで風呂に入りたいたとか、仕事に戻りたいとかなど、ご本人の能力に見合った目標に向かって皆で頑張っていくものです。

今後、ご本人・ご家族のご意向をよく拝聴し、職員一同精進し、少しでも目標に近づけることができるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

心理検査環境に関するアンケート調査の結果報告

この度、臨床心理科では、心理検査に來られた外来患者様及び検査室に付き添われたご家族様にご協力いただき、現在の心理検査環境に関するアンケート調査を実施しました。ここに、その結果をご報告させていただきます。

調査期間：平成21年10月21日～

平成22年1月31日

回収率：98.5%
有効回答数：118部

アンケート結果

1. 心理検査についてどのよう理解されて来られましたか？（一部抜粋）

○物忘れの検査のために来た
○聞かないで来た。リハビリとだけ聞いた
○症状の進行度を調べて治療に役立てるための検査と理解して来た

○ぜんぜんわからない

2. 検査室の室温はいかがですか？（図1）

ちょうどよいとの回答が100%でした。

3. 検査室の明るさは適当ですか？（図2）

明るすぎるとの回答が2.6%、ちょうど良いとの回答が97.4%、暗すぎるとの回答が0.0%でした。

答が97.4%ありました。

4. 検査室及び検査室周囲の音は気になりますか？（図3）

気にならないとの回答が99.1%、気になるとの回答が0.9%ありました。

5. 検査室内の雰囲気は落ち着いて検査を受けられる雰囲気ですか？（図4）

はいとの回答が96.5%、いいえとの回答が3.5%ありました。

6. 検査者の話すスピードはいかがですか？（図5）

速すぎるとの回答が2.7%、ちょうど良いとの回答が97.3%ありました。

7. 検査者の声の大きさは適度な大きさですか？（図6）

ちょうど良いとの回答が100%でした。

8. 検査者の話す内容はわかりやすいですか？（図7）

はいとの回答が97.3%、いいえとの回答が2.7%ありました。

9. 検査環境への満足度を顔で表すと、以下のうちどれですか？（図8）（フェイススケールで回答）

しかめっ面と泣き顔を選ばれた方が8.2%、普通、微笑、

笑顔を選ばれた方が91.9%でした。

☆その他の「要望・意見」（一部抜粋）

○検査時間が長く、患者様が疲労する

○心理検査が今後の生活にどのように生かせるのか知りたい

○難しい検査で終わるのではなく、最後に少し簡単な問題を入れて欲しい

総評

質問1、心理検査の理解については、ある程度ご理解いただけて来てくださっている方もいらっしゃるようでしたが、よくわからないまま来られたという方もいらっしゃいました。今後は、心理検査についてよりご理解いただけてから検査を始めるよう心がけてまいりたいと思います。

質問2から9に関しましては、ご意見・ご要望もありましたが、90%以上の患者様、ご家族様がちょうど良い、あるいは問題ないと考えておられることがわかりました。今後は、基本的には現状を維持しつつも、ご要望のある方に

図4 落ち着いて検査を受けられる雰囲気か

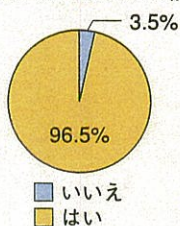


図3 検査室周囲の音

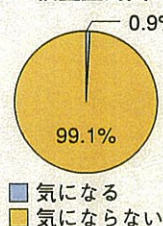


図2 検査室の明るさ

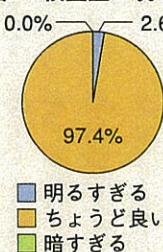


図1 検査室の室温



図8 検査環境への満足度

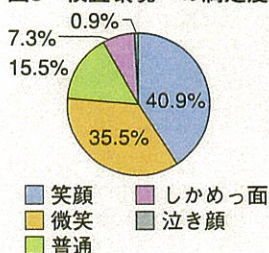


図7 検査者の話す内容のわかりやすさ

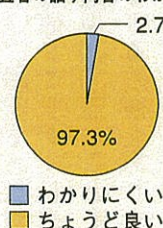
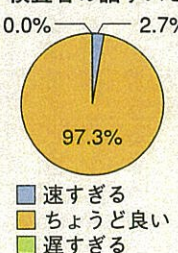


図6 検査者の声の大きさ



図5 検査者の話すスピード



はその都度柔軟に対応させていただきたいと思えます。

その他のご要望・ご意見につきましては、次のように対応させていただきます。

患者様の疲労を少しでも緩和するため、今後は、途中で休憩を提案することを心がけてまいります。長時間の検査が難しい方は、検査を2回に分けることも可能ですので、ご相談ください。

心理検査の生かし方や意味は、お一人お一人異なるものですので、医師と連携しながら、個別に対応させていただきたいと思えます。

検査の順番につきましては、一部順番を変え、最も難しい問題が最後に来ないようにさせていただきます。

皆様のご意見を踏まえ、今後とも、より良い検査環境作りのために努力してまいります。この度はアンケートへの協力、誠にありがとうございました。



福祉用具展示ホールについて

研修交流センターにある福祉用具展示ホールは360㎡、福祉用具(車いす、ベッドなど)の展示品は約650点あります。また、ホール内には、キッチン・トイレ、風呂などの改修のヒントにもつながるモデルハウスが設置されています。

昨年、展示ホール内は、「寝る」「起きる」「動く」「食べる」「トイレをする」「入浴する」「外出する」「住環境を整える」に分けたフラ



写真1 展示ホールの様子

ッグをかがげ、普段の生活をイメージしながら展示品を見て、触って、体験していただけるようリファインしました。

通路幅を広くとり、サイン表示も見やすくしています。

本年度からは衣服の展示を充実させつつあります。

障害のある子どもたちの衣類や靴、そして主に片マヒの人のズボンのリファーム。ファスナーを股下まで長くして、持ち手にリングをつける、ボタンをマジックテープするなど、いくつかのサンプルを展示しています。これは、たつの市にありますN

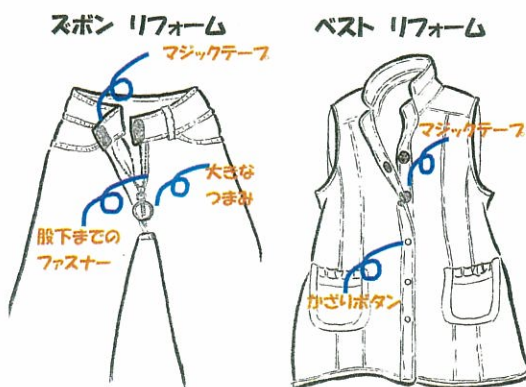


図1 ズボンとベストのリファーム例

PO法人「えびす」(TEL 079 1-62-1811)に協力いただきサンプルを提案していただいています。

去る7月25日に開催された網膜色素変性症協会(JRSP)兵庫県支部の主催したプチ・アイフェスタin西播磨(視覚障害者福祉機器展)にあわせ、視覚障害者に便利な生活支援用具を新たに約20点展示しています。

たとえば、ボタンを押すと音声で知らせるキーホルダー時計や小型電卓。その他にも、裁縫道具(糸通し器)、調理用具(白黒まな板)、液体インジェクター(コップの縁にかけて、液体をそそげば電子音とバイブレーションで確認できるもの。)これらは、誰にも使い勝手のよいユニバーサルな商品といえます。

なお、販売はしていませんので、ご希望があればお住まいの最寄りの販売店をご紹介します。団体見学や研修も受け付けており、多数の皆様のご来場をお待ちしています。お気軽にお越し下さい。展示ホールの開館時刻は9時17時30分、祝日と12月31日、1月1日は休館日となります。

地域支援・研修交流課 小山 美代

新任・転入職員紹介

ようこそ
お願います!!



瀧本
精神保健福祉士



田中
放射線技師



青石
ソーシャルワーカー



井上OT



奥田OT



佐用PT



三木PT



山崎
リハビリ療法部長



庄野ST



打田OT



廣田PT



龍崎
心理判定員



佐々木
看護師



坂井
看護師



山戸
看護師



寺元
看護師



前川
看護師



中田
看護師



仲村
看護師



高見
看護師

短時間通所リハビリテーションのご案内

短時間通所リハビリテーションを開設して半年が過ぎようとしています。

通所リハビリに地域の需要があるか、不安を残してのスタートでありましたが、6月以降は定員が埋まる日が多くなってきました。

当院の短時間通所リハビリテーションの特色として、理学療法士(P.T.)、作業療法士(O.T.)の個別リハビリ以外に、言語聴覚士(S.T.)の個別リハビリや音楽療法士(M.T.)と園芸療法士(H.T.)の集団リハビリを実施している点があります。また、認知症のリハビリについても専門的な内容を提供しております。

特に介護保険で言語聴覚士(S.T.)のリハビリを提供している場所が少ないので、開設当

初は問い合わせの半数以上を言語聴覚士のリハビリ希望の方が占めておりました。そのため申し訳ありませんが言語聴覚士のリハビリは、しばらくの間、入院からの継続利用の方に限らせて頂いております。

最近利用申し込みを頂いても空きが出るまでお待ち頂いている状況ですが、10月からサード提供日を月々金曜日に変更いたしますので、月曜に間に合います。また、入院からの継続利用に關しましては、切れ目の無いリハビリを優先して対応させて頂きます。

短時間通所リハビリテーションのご相談・お申し込みは、当院通所リハビリ担当(青石・森本)または総合相談・地域連携室へ

ロビーコンサート開催案内

11月にロビーコンサートを開催します。みんなで楽しい時間を過ごしましょう! 詳細は決まり次第、ご案内します。お楽しみに!

